



ナ・デックスレポート

第73期 中間報告書

2022年5月1日～2022年10月31日

証券コード：7435



ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第73期第2四半期累計期間(2022年5月1日から2022年10月31日まで)の営業状況を報告し、今後の事業展開につきましてご説明させていただきます。ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長 高田 寿之

新型コロナウイルス感染症の感染者数が抑制され行動制限が緩和されるなど、社会経済活動の持ち直しの動きが継続しておりますが、新たな変異株による感染再拡大や半導体などの部材不足、原油価格の高騰、急激な円安やインフレ懸念の高まりなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和される中で、先進国を中心に持ち直しの動きが継続しておりますが、長期化する米中貿易摩擦、ウクライナ情勢などの地政学的リスクなど、国内と同様に景気の先行きは不透明な状況で推移

しております。当社グループの主要得意先である自動車関連企業につきましては、半導体等の供給不足や中国上海市のロックダウンなどの影響を受け生産調整を余儀なくされたものの、当第2四半期連結会計期間以降については回復基調で推移しております。ただし、半導体等の供給リスクが依然として懸念される状況であり、設備投資の動向についても明確に見通せない状況であります。

このような状況の中で、上半期の連結業績については、売上高180億6千4百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益10億1千2百万円(同53.0%増)、経常利益11億2百万円

(同41.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億2千5百万円(同24.3%増)となりました。

▶ 連結業績につきましては、P5「連結財務ハイライト」をご参照願います。

現在、当社グループは、2024年4月期を最終年度として策定いたしました中期経営計画に基づき、創業以来培ってきた「接合」技術をコアコンピタンスとして、FAシステム・生産設備などのメーカー機能とグローバ

ルネットワークを有する商社機能に、さらにシステムインテグレーター機能を掛け合わせることににより、スピード化・多様化する顧客ニーズの変化に柔軟に対応できる取組みを進めております。

これからも企業価値ならびに株式価値の向上に資する経営に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引続き格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地域別業績

日本

売上高 147.1億円  
営業利益 6.3億円

日本につきましては、電気機器関連企業向け生産設備の売上が増加したこと、また円安効果なども加わり、売上高は147億1千5百万円と前年同四半期に比べ13億1千7百万円(9.8%)の増収となり、営業利益は6億3千7百万円と前年同四半期に比べ3億8千9百万円(156.8%)の増益となりました。

北米

売上高 19.5億円  
営業利益 2.8億円

北米につきましては、半導体不足などの影響により自動車の生産台数が減少したことなどに伴い自社製品の売上が減少したことなどにより、売上高は19億5千1百万円と前年同四半期に比べ4億1千4百万円(△17.5%)の減収となり、営業利益は2億8千1百万円と前年同四半期に比べ7千4百万円(△21.0%)の減益となりました。

中国

売上高 11.4億円  
営業利益 0.2億円

中国につきましては、上海市のロックダウンの影響などにより、売上高は11億4千9百万円と前年同四半期に比べ4億3千6百万円(△27.5%)の減収となり、営業利益は2千1百万円と前年同四半期に比べ3千8百万円(△64.7%)の減益となりました。

東南アジア

売上高 8.3億円  
営業利益 0.5億円

東南アジアにつきましては、自動車関連企業向け生産設備の売上が増加したことなどにより、売上高は8億3千9百万円と前年同四半期に比べ2億2千1百万円(35.7%)の増収となり、営業利益は5千9百万円と前年同四半期に比べ4千8百万円(465.2%)の増益となりました。



## 「2022国際ウエルディングショー」出展

7月13～16日

東京ビッグサイト

「接合の進化とカーボンニュートラルへのご提案」をテーマに、抵抗溶接の品質判定や省エネの見える化、さらにスパッタレスを実現するレーザ溶接用途の新商品および画像技術を駆使した新しい品質検査、プレス工程用途の新システムをご紹介させていただきました。



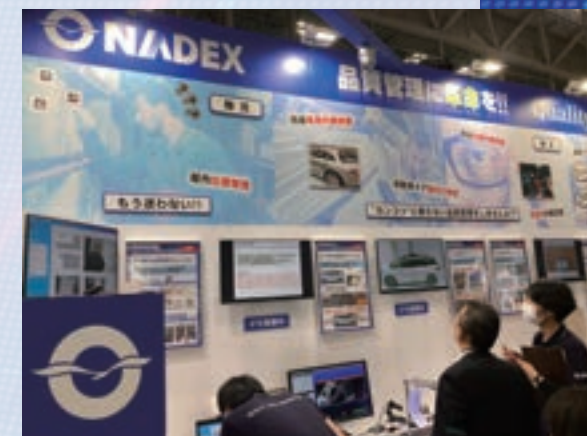
# NADEX NEWS

## 「第5回名古屋ロボデックス」出展

10月26～28日

ポートメッセ名古屋

「全数品質保証への挑戦！」をテーマに各製造工程における品質検査自動化の提案をご紹介。世界初となるトランスファープレスのインライン割れ検知、溶接不良検知、塗装の埃検知から組立工程での車両外観検査など画像やセンサーを活用した最新技術をご紹介させていただきました。



## 「NADEX Private Show」開催

11月16～18日

当社技術センター

「接合の品質向上、品質検査の自動化への挑戦とご提案」をテーマに、当社が得意とする抵抗溶接技術やレーザ加工技術に加え、次世代品質DXソリューションや物流自動化ソリューションをご紹介させていただきました。コロナ禍の影響により3年ぶりの実開催となりましたが、多くのお客さまにご来場いただき、当社の各種ソリューションを実際にご覧いただくことができました。

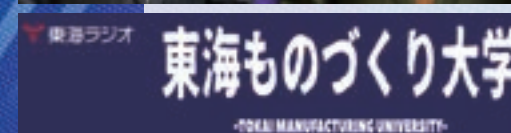


東海ラジオ

## 「東海ものづくり大学」出演

11月21日放送

東海地区のものづくりをテーマにした同番組に当社社長の高田が出演いたしました。ナ・デックスグループの未来への展望や社長の決断などを語っております。放送内容は同番組HPにてお聴きになれます。

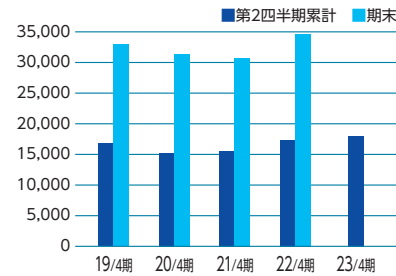


<https://tokaimonozukuri.net/2022-11-21/>

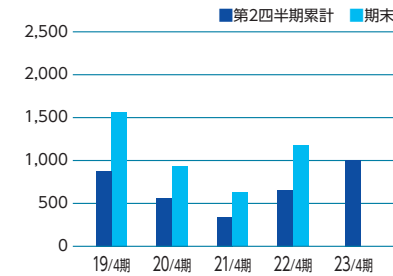




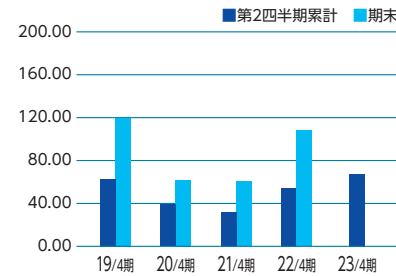
売上高 (単位: 百万円)



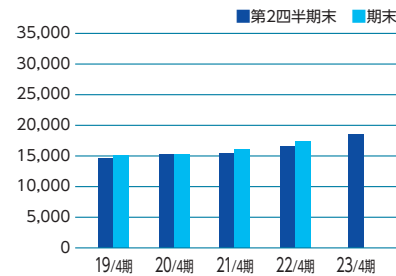
営業利益 (単位: 百万円)



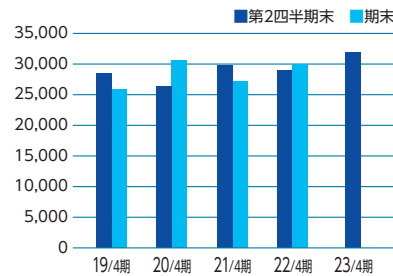
1株当たり四半期(当期)純利益 (単位: 円)



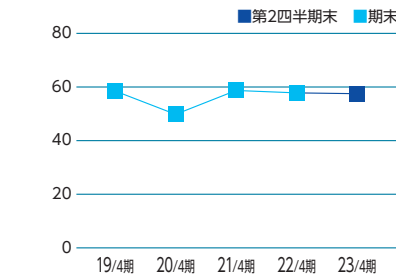
純資産 (単位: 百万円)



総資産 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



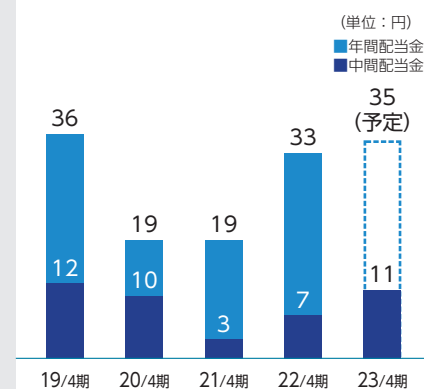
株主還元方針に関する考え方

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題と認識しており、財務体質の強化や将来の事業展開に備えた内部留保の充実などを総合的に勘案しつつ、業績に連動した配当を安定的かつ継続的にを行うことを基本方針としております。業績に連動した指標としては連結配当性向30%以上とします。連結配当性向により算出された年間配当金額が10円を下回る場合でも、年間10円の配当を堅持できるよう努めてまいります。著しい経営環境の変化などの特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合等については、その影響等を考慮し配当額を決定することがあります。

当事業年度の中間配当金につきましては、上記基本方針をふまえ、1株につき11円の配当とさせていただきます。

なお、当事業年度の年間配当金につきましては、1株につき35円とする予定であります。

配当金の推移



事業別売上構成比および事業内容

2022年4月期  
第2四半期  
連結売上高  
180億円

**プロセスソリューション**  
(タイマー、レーザ、ITソリューション)

国内自動車業界でトップシェアを誇る抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)を主軸に、レーザ加工技術、異材接合、ITを用いた次世代工法・加工ソリューションの開発を通じて、ものづくりの進化に貢献してまいります。

**システムインテグレーション**

お客さまが求める生産システムをオーダーメイドで構想からカタチにする提案を行っております。各事業との有機的な連携を通じて、トータルソリューションの提供をより一層推進してまいります。

**ファクトリーオートメーション**

ロボット・FAシステムを中心とした省人化・自動化の提案、組付機・加工機・検査機といった単体機から製造ラインまでワンストップでの提供を行っております。また、製造業以外にも、コロナ禍での物流ニーズに対応した構内物流の自動化ソリューションを展開しております。

**制御部品**

電子・電気制御部品の代理店販売を主軸としつつ、基板設計実装や制御盤製作などを提供しております。当社のネットワークでお客さまの課題を解決する最適なコンポーネントを提案しております。

## 会社概要

商号	株式会社ナ・デックス (英文名/NADEX CO.,LTD.)
本店所在地	名古屋市中区古渡町9番27号 TEL (052) 323-2211
設立	1950年10月
資本金	1,028,078千円
従業員数	800名 (連結)、217名 (単体)

## 役員

取締役会長	古川 雅 隆
代表取締役社長	高田 寿 之
専務取締役	進藤 大 資
常務取締役	横地 克 典
取締役	本田 信 之
取締役	野口 葉 子
常任監査役 (常勤)	渡 邊 修
監査役	市 原 裕 也
監査役	仙 田 正 典

(注1) 取締役野口葉子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注2) 監査役市原裕也氏および仙田正典氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 株式の状況

発行可能株式総数	40,125,000株
発行済株式の総数	9,605,800株 (自己株式281,022株を含む)
株主数	2,269名

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アート・ギャラリー富士見	1,400,000	15.01
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	768,026	8.23
古川 美 智 子	285,600	3.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	280,500	3.00
光通信株式会社	263,500	2.82
ナ・デックス社員持株会	263,227	2.82
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	241,400	2.58
古川 雅 隆	226,502	2.42
古川 佳 明	222,000	2.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	156,500	1.67

(注) 持株比率は、自己株式(281,022株)を除く発行済株式総数に対する持株数の割合であります。

## 株主メモ

事業年度	5月1日～翌年4月30日
期末配当金受領株主確定日	4月30日
中間配当金受領株主確定日	10月31日
定時株主総会	毎年7月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.nadex.co.jp/
単元株式数	100株
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

## ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報は当社のホームページにも掲載されております。